

令和元年度秋田市農業大賞

2月6日(木)、秋田ビューホテルで令和元年度秋田市農業大賞表彰式が開催されました。地域産業の担い手として農業の発展に貢献している3個人・3団体が選出され、株式会社寿牧場(秋田市上北手)が秋田市農業大賞を受賞しました。

同牧場は高い肥育技術を持ち、自動給餌器などの導入による効率化や経営の合理化を図ったモデル的経営、耕畜連携による循環型農業などを実践している点が評価されました。代表取締役の高橋長寿さんは「大規模肉用牛経営の確立を目指して」と題して、牧場の設備や今後の抱負を語りました。

秋田市農業賞には、若手農業者の育成指導や優良種子の安定供給、直売所運営による地域振興への功績などが認められた3個人・2団体が輝きました。

農業子ども絵画コンクールでは、秋田市立旭北小3年の最上柚希さんが大根の収穫風景を描いた「大きな大根」が最優秀賞に選ばれ、入賞した10名の児童を表彰しました。市農政協力員29名の永年勤続表彰も行われました。

大賞以外の秋田市農業賞受賞者は次の通りです。(敬称略)

▽経営体部門園芸生産の部 伊藤邦夫(同市雄和)、田口俊次(同市豊岩)▽若手農業者部門 鷲澤秀光(同市雄和)▽地域活性化部門 一般社団法人耕壤会種子生産組合(同市上新城)、ファーマーズマーケット彩葉館運営協議会(同市泉)

受賞者の方々



農業関係者が受賞者の功績をたたえました



雄和地区稲作講習会

2月15日(土)、雄和地区を対象にした稲作講習会が雄和支店で開かれました。令和元年度産米の生育状況を振り返り、良質米の安定生産への意識を高めました。

秋田地区営農センターは次年度に向けて、ケイ酸資材を使用した高温障害対策や適正な植付本数による安定数量の確保、実需者の要望に対応した多収性業務用品種の作付けなどを説明しました。

秋田県農業試験場作物部の三浦恒子主任研究員は今年度における雑草の発生状況と今後の対策について講演し、除草剤散布の予定を作業スケジュールに組み込み、適期を逃さないよう呼び掛けました。

水田雑草の特性を確認する参加者



超神ネイガー交通安全教室

J A 共済と県内の各J A は地域貢献活動の一環として、共同で交通安全普及活動を行っています。

2月20日(木)には、ノースアジア大学附属のびのびこども園で「超神ネイガー・シグマ」による交通安全教室を開催しました。当日は子どもたちにサプライズで行われ、ネイガー達が颯爽と登場して豪快なアクションを披露すると、会場から大きな歓声が上がりました。子どもたちは横断歩道を渡るとききの左右の確認方法や信号機の見方について、実際に体を動かしながら楽しく学びました。

横断歩道の渡り方を学ぶ子どもたちと超神ネイガー・シグマ

